

大分県産業人材確保・育成プラン(第12次大分県職業能力開発計画)案に対する県民意見の募集結果

番号	意見の要旨	県の考え方及び反映状況
1	<p>人口減少が進む中、県内の産業人材を確保するための計画を策定するのはよい取組だと思う。</p> <p>労働力の確保のためには、若年者の県外流出に歯止めをかけることが大切だと思うが、そうした点もきちんとプランに記載されていて良かった。</p> <p>ただ、このプランでは、県がどういった具体的な施策を行うのかわからない。そういったことをもっと詳しく記載してほしい。</p>	<p>プランの成案公表時には、産業人材の確保・育成に係る取組の一覧を添付資料として加え、当県の具体的な施策を記載させていただきます。</p>
2	<p>昔に比べて、家の近所で外国人を見かける機会が増えた。聞きなれない言葉で、どこの国の出身かもよくわからない。外国人が関係した事件をニュースやインターネットで見ると不安を感じる。</p> <p>そのような中、県内に外国人材を積極的に受け入れる必要があるのか。</p> <p>県は、外国人材の受け入れをどのように考えているのか。</p>	<p>人口減少が進み、県内の様々な産業で人手不足が深刻化していることから、本県にとって外国人材の受け入れ対策は大変重要です。</p> <p>県では、庁内関係部署や市町村等と連携して、外国人材の受け入れ・共生に係る取組を進めています。外国人住民向けの日本語教室の開催や外国人住民と地域住民との交流促進等の取組により、外国人の方々が大分に溶け込みやすくとともに、皆様が安心して暮らせる環境づくりを進めてまいります。</p>
3	<p>私が就活担当として県内大学生に話を聞いた際、就職希望先として決定する大きな要因の一つにインターンシップでの企業との接触と言われました。</p> <p>県内企業の多くがインターンシップの存在や申請方法、どのように学生にインターンシップを行えばよいのか知識に乏しい状況だと思います。</p> <p>希望する企業に対し、合同でインターンシップの勉強会などを行うことはできますか。</p>	<p>大学生の就職活動が早期化する中で、インターンシップは企業と学生の双方にとって益々重要化しています。</p> <p>ご指摘のとおり、県内企業のインターンシップは、企業ごとのノウハウの有無や人員の状況により、差が見られます。県では、インターンシップに関する企業向けセミナーやワークショップを実施しており、今後も県内企業の魅力向上と採用力強化に向けた取組への支援により、若者に選ばれる企業を増やしていきます。</p>
4	<p>県外の学生への大分県定住のプランの提示は可能ですか。</p> <p>大分県で生活する場合に、必要な経費や平均年収、持家の比率などがわかると、どのように暮らしていくのかが見えてと思います。</p>	<p>県外に進学した大学生等のUターン就職を促進することは、本県にとって大変重要な取組と考えています。</p> <p>県では、県外在住者に大分での暮らしを紹介するため、家計収支や通勤時間の県内平均、持ち家住宅率等を記載したパンフレットを作成し、周知に努めているところです。引き続き、県外在住者に大分での生活、ライフプランをイメージしてもらえよう取り組んでまいります。</p>
5	<p>企業側の外国語学習・外国人材との接点の強化について、外国人就労者の増加を鑑み、外国人材と触れ合うワークショップなどを検討いただけませんか。</p> <p>また、外国人に日本語を学んでもらうだけでなく、外国人就労者の母国語の学習機会の提供も検討していただければと考えます。</p>	<p>本県の在留外国人は約1万9千人（令和6年6月末時点）、外国人労働者数は約1万人（令和5年10月末時点）となり、増加傾向が続いています。</p> <p>県では、外国人住民と地域住民との交流促進等に取り組むとともに、外国語を学びたい方を対象に語学講座を開催しています。引き続き、地域の皆様が外国人の方々と触れ合う機会の創出、外国語を学習できる機会の提供に取り組んでまいります。</p>